

平成25（2013）年度

産業技術大学院大学産業技術研究科

『enPiT—分野・地域を越えた
実践的情報教育協働ネットワーク—』
プログラム

受講者募集要項



公立大学法人 首都大学東京

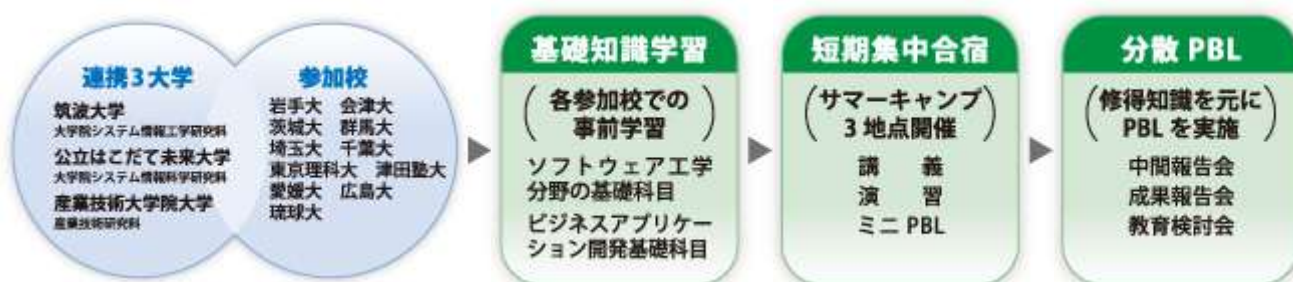
1 『enPiTー分野・地域を越えた実践的情報教育協働ネットワーク』プログラムについて

enPiTは日本国内の15大学が連携して実践的な人材育成を推進する教育ネットワークです。情報技術の中から、クラウドコンピューティング、セキュリティ、組込みシステム、ビジネスアプリケーションの4分野に焦点を絞り、複数の大学が連携して教育を行います。

産業技術大学院大学は、筑波大学、はこだて未来大学とともに、ビジネスアプリケーション分野を担当します。ビジネスアプリケーション分野では、進化を続ける先端情報技術や情報インフラを有機的に活用し、潜在的なビジネスニーズや社会ニーズに対する実践的問題解決ができる人材の育成を目指します。

enPiTのプログラムは大学院修士（博士前期）課程1年生を対象にしていますが、それ以外の学年の学生や社会人も履修することが可能です。

カリキュラムは、2週間の短期集中合宿と、合宿後に分散して実施するプロジェクト型学習（PBL）が中心で、これらをより効果的なものとするために、選択科目として基礎知識を学ぶための事前学習科目やプログラミングの集中合宿も用意しています。



2 分散 PBL コースについて

本学は、下記2つの分散PBLコースを開設します。申込時にいずれかのコースを選択してください。

① スクラムによる Web アプリケーション開発コース

楽天株式会社が提供する各種サービスの API (Application Program Interface) を利用して、ビジネス展開も可能なオリジナル Web アプリケーションを作成していきます。作成中のアプリケーションは一般に公開し、ユーザーの意見を集めます。ユーザーからのフィードバックサイクルを回しながら、アプリケーションを育てるために、近年脚光を浴びているアジャイル開発手法の一つであるスクラムによるプロジェクトマネジメントを行います。複数の PBL チームの編成が可能です。

指導教員：客員教授（楽天株式会社 技術理事）吉岡弘隆、特任准教授 永瀬美穂

② グローバルサービスアプリケーション開発コース

ブルネイやベトナムの大学と協力しながら、ロボットとインターネットを活用したサービスアプリケーションを開発します。ミニ PBL では、遠隔会議によりそれぞれの国の文化や特徴を生かしたロボットサービスのアイデアを考案し、要求仕様書としてまとめ、分散 PBL では、その要求仕様書を基に実機（ロボット）を使ったアプリケーション開発を協同で行います。なお、ミニ PBL で考案したアイデアは今年 9 月に開催される RSNP コンテスト 2013 に応募する予定です。

指導教員：助教 土屋陽介 NSP 研究所 研究員、RSNP コンテスト運営委員

3 参加条件

以下の項目のいずれかに該当する方が対象です。

- ① 情報系の大学院に在籍している
- ② 情報系の学部レベルの基礎教育を習得している
- ③ 情報システムの開発に関する実務経験を有する

- ※ 申し込み時に、上記参加条件に関する証明書類等を提出していただきます。詳しくは「10 出願書類等」をご覧ください。
- ※ 受講許可を受けた後は、短期集中合宿及び分散PBL参加の前提となる基礎知識を習得するため、必要に応じて事前学習科目を履修することができます。なお、短期集中合宿への参加および分散PBLの受講前に、前提知識の習得状況の確認を行います。

4 修了要件

短期集中合宿として開催される「ビジネスアプリケーション特論」および分散PBL方式で開催される「ビジネスアプリケーション特別演習」の修了をenPiTプログラムの修了要件とします。
プログラム修了者には、修了証を交付します。

5 修了後のイメージ

このプログラムで学ぶことで、先端的な情報技術に関する知識、世の中のニーズを捉える能力、実戦的な問題を解決する能力が養えます。このプログラムでの学習を踏まえて、さらに講義、実習、研究活動を通して、知識や能力に磨きを掛けることで、潜在的なビジネスニーズや社会ニーズに対する実践的問題解決ができる人材を目指せます。

6 平成 25 年度スケジュール ※日程は変更となる場合があります。

(1) 事前学習 (6月～8月)

短期集中合宿への参加に備えて、必要に応じて各自でソフトウェア開発の勉強をしてもらいます。また、本学の正規科目として開講されている講義を事前学習として受講することができます。これらの講義は原則として産業技術大学院大学品川シーサイドキャンパス、または秋葉原サテライトキャンパスで受講していただきます。事前学習科目を受講することはenPiTプログラムの修了要件ではありません。

事前学習として受講可能な産業技術大学院大学正規科目 (6月12日～8月10日の間に開講)

- ・ システムプログラミング特論 (月 5 限、木 5 限)
- ・ 情報システム特論 (※ 1) (月 6 限、木 6 限)
- ・ 情報アーキテクチャ特論 (※ 2) (火 5 限、金 5 限)
- ・ ユビキタスプラットフォーム論 (火 6 限、金 6 限)
- ・ 情報システム構築プロジェクトマネジメント論 (※ 3) (水 5 限、土 1 限)
- ・ eビジネス論 (水 6 限、土 2 限)
- ・ アジャイル開発手法特論 (土 3 限、土 4 限)

※ 1 産業技術大学院大学開講科目名は「情報システム特論 2」

※ 2 産業技術大学院大学開講科目名は「情報アーキテクチャ特論 1」

※ 3 産業技術大学院大学開講科目名は「プロジェクト管理特論 2」

※ 産業技術大学院大学の講義時間 1 限 : 10:30～12:00 2 限 : 13:00～14:30 3 限 : 14:45～16:15
4 限 : 16:30～18:00 5 限 : 18:30～20:00 6 限 : 20:10～21:40

(2) 短期集中合宿 (8月～9月)

ビジネスアプリケーション開発に必要な知識を、合宿形式で集中的に学びます(会場未定)。

ビジネスアプリケーション演習（選択科目）

9月2日（月）～6日（金）いずれも13:00～18:00（3コマ×5日＝15コマ）

PHP言語を使ったプログラミングの演習です。ビジネスアプリケーションを構築するための基礎力としてのプログラミング力を身につけます。この科目はenPiTプログラムの修了要件ではありません。

ビジネスアプリケーション特論（必須科目）

ビジネスアプリケーション構築の基礎となるデザインやプロジェクトマネジメントを講義形式で学ぶ部分と、分散PBLの準備として合宿形式でミニPBLを実施する部分から構成されます。この科目はenPiTプログラム修了のための必須科目です。

①オムニバス講義（共通講義）

9月9日（月）～12日（木）18:30～21:40（2コマ×4日＝8コマ）

②ミニPBL（申込時に登録したチーム単位でのPBL演習）

9月13日（金）18:30～21:40・9月14日（土）9:00～12:10、13:00～18:00

（2コマ×1日＋5コマ×1日＝7コマ）

※「グローバルサービスアプリケーション開発コース」のミニPBLは、8月5日（月）～8月16日に開講します。

（3）分散PBL（10月～12月）

ビジネスアプリケーション特別演習（必須科目）

チーム単位での分散PBLにより、ビジネスアプリケーション開発の実践力を修得します。チームメンバーが品川シーサイドキャンパス、秋葉原サテライトキャンパス、参加校などに分散している場合は遠隔会議システムを利用して活動を行います。

会議の開催日や時間は夜間や土曜日を中心に各PBLチームで調整し、期間内に30コマ分の共同作業（週3コマ程度）と30コマ分の個人作業を行いながらプロジェクトを達成することを想定しています。

終了後にPBL活動の発表会を開催します。この発表会の内容だけでなく、各個人の活動の内容、質、などを総合的に判断し個人の修了を判定します。この科目はenPiTプログラム修了のための必須科目です。

7 募集人数

15名程度

8 受講料

無料

※ ただし、「AIIT単位バンク登録制度」により、産業技術大学院大学の科目等履修生として修得した単位の蓄積を希望される方は、既定の授業料をお支払いいただきます。詳細は、下記「14 AIIT単位バンク登録制度について」をご覧ください。

9 出願期間及び出願方法

(1) 願書受付締切

平成 25 年 5 月 31 日（金）まで（当日消印有効）（郵送または窓口持参）

【送付先】

〒140-0011

東京都品川区東大井 1-10-40

産業技術大学院大学 管理部管理課 enPiT 事務局あて

郵送する場合は、必ず書留にしてください。

【窓口持参先】

産業技術大学院大学管理部管理課教務学生入試係

(2) 出願書類受理のお知らせ

受理した書類を点検・確認後、出願書にてご指定いただいたメールアドレスあてに、受理のお知らせを送付します。6 月 3 日（月）10 時までにメールが届かない場合は、産業技術大学院大学管理部管理課 enPiT 事務局までご連絡ください。（電話 03-3472-7833）

10 出願書類等

志願者は、次の書類を一括して提出してください。

(1) enPiT プログラム受講願書

(2) 参加条件を証明する書類等（下記のいずれか）

参加条件① 情報系の大学院に在籍している

→ こちらに該当する方は、在籍を証明できる書類（学生証等）の写しをご提出ください。

参加条件② 情報系の学部レベルの基礎教育を習得している

→ こちらに該当する方は、上記基礎教育の習得状況を証明する書類（出身大学の卒業証明書および成績証明書もしくはこれらに準ずる書類）をご提出ください。

参加条件③ 情報システムに関する実務経験を有する

→ こちらに該当する方は、職務経歴、職務実績等を詳細に示す書類（6 ページの職務経歴書（例）を参考にご作成ください）と、原則として、上司の推薦書をご提出ください。

11 出願上の注意事項

(1) 受理した書類は返還しません。

(2) 申請書類に不備がある場合は、受付期間内に補正がなければ不受理となります。また、出願期間を過ぎた出願書類は受理しません。

12 選考方法

書類審査により選考します。応募人数が募集人数を上回った場合、あるいは本プログラム履修に必要な前提条件を満たさないと判断される場合は受講を認められない場合があります。

13 選考結果の通知

選考結果について、平成 25 年 6 月 7 日（金）に、出願書にてご指定いただいたメールアドレス

スへご連絡します。その日のうちに通知が届かない場合は、産業技術大学院大学管理部管理課 enPiT 事務局（電話：03-3472-7833）へご連絡ください。

受講を許可された方へは、上記通知時に、受講に関するご案内を併せて送付します。

14（本学正規学生の方へ）単位の授与について

enPiT プログラムの授業科目は、単位の授与の対象となります。単位数等の詳細については、7 ページのとおりです。

15（本学正規学生以外の方で、AIIT 単位バンクに登録していない方へ）AIIT 単位バンク登録制度について

本プログラムの一部は学位課程の科目で構成されていますが、そのまま受講しても単位の修得はできません。単位修得を希望する場合は、別に「AIIT 単位バンク登録生（科目等履修生）」の登録が必要です。

なお、enPiT プログラムの科目のうち、「AIIT 単位バンク」の科目として設定されているのは、事前学習科目のみです。

（1）AIIT 単位バンク登録生（科目等履修生）への出願方法

以下の出願期間に、別途「AIIT 単位バンク登録生（科目等履修生）」の出願をしてください。
平成 25 年 5 月 31 日（事前審査締切：5 月 13 日）

その際、**AIIT 単位バンク登録生（科目等履修生）の選考を行います（※）**ので**入学考査料 9,800 円を納入していただきます。また、単位数に応じて授業料が発生します。**

※ 平成 24 年度科目等履修生であった者及び既に平成 25 年度 AIIT 単位バンク登録生（科目等履修生）である者を除く

（2）AIIT 単位バンクについて

AIIT 単位バンクとは、科目等履修生として修得した単位を蓄積し、正規学生として入学した際に活用する制度です。蓄積した単位は、本学に正規学生として入学すると、正規学生の単位として認定を受けることができます。※1

また、正規学生として入学した際には、科目等履修生の授業料に相当する額を、正規入学後の授業料から減免を受けることができます。※2

※1 AIIT 単位バンクに蓄積した単位の有効期間は 5 年間です。単位修得後 5 年以内に受験して正規入学した場合、正規学生の単位として認定されます。

※2 正規入学後に授業料減免申請手续をすることにより、（正規学生の単位として認定を受けた単位数）×（科目等履修生 1 単位あたり授業料）を正規入学初年度の授業料から減免することができます。なお、授業料の改定があった場合は、改定後の授業料が適用されます。

16 開講中止となった場合の取扱い

（1）通知方法

申込者数により、開講しない場合には郵送により通知します。

（2）提出書類について

ご提出いただきました書類については、こちらで厳重に処分します。ご了承ください。

＜問い合わせ先＞

産業技術大学院大学管理部 enPiT 事務局（OPI 企画運営係）

〒140-0011 東京都品川区東大井 1-10-40

電話：03-3472-7833 FAX：03-3472-2790

職務経歴書（例）

平成〇〇年〇〇月〇〇日現在

氏名：〇〇 〇〇 印

■職務経歴

〇年〇月 〇〇〇〇株式会社入社

〇〇〇〇部に配属

〇年〇月 〇〇〇〇部に配属

現在に至る

■業務内容

〇〇〇〇株式会社

期間	内容	役割

■取得資格等

〇年〇月 〇〇〇〇スペシャリスト

〇年〇月 〇〇〇〇技術者

■得意分野／スキル

- ・ 〇〇〇の設計
- ・ 〇〇〇業務知識
- ・ 〇〇〇〇〇〇

※産業技術大学院大学正規学生の方へ

enPiTプログラム科目を受講する場合の単位の授与について

			情報アーキテクチャ専攻		創造技術専攻	
No	enPiT科目名	単位数	単位の授与	修了要件の単位となるか	単位の授与	修了要件の単位となるか
1 事前学習科目						
1	システムプログラミング特論	2	○	○	○	×
2	情報システム特論 (産技大開講科目名:情報システム特論2)	2	○	○	○	×
3	情報アーキテクチャ特論 (産技大開講科目名:情報アーキテクチャ特論1)	2	○	○	○	×
4	ユビキタスプラットフォーム論	2	○	○	○	×
5	情報システム構築プロジェクトマネジメント論 (産技大開講科目名:プロジェクト管理特論2)	2	○	○	○	×
6	eビジネス論	2	○	○	○	×
7	アジャイル開発手法特論	2	○	○	○	×
2 短期集中合宿						
1	ビジネスアプリケーション演習(選択科目)	1	○	×	○	×
2	ビジネスアプリケーション特論(必須科目※)	2	○	○	○	○
3 分散PBL						
1	ビジネスアプリケーション特別演習(必須科目※)	2	○	○	○	○

※ 「ビジネスアプリケーション特論」と「ビジネスアプリケーション特別演習」は、enPiTプログラム修了に必須となる科目です。